

Q

羽毛布団と毛布を併用するときは
どのようにするとより暖かくなりますか？

A

羽毛布団の性質を理解し、適切な重ね方を
することでより質の高い眠りを得られます。

布団と毛布の重ね順を適切にすると より高い保温効果が得られます

布団と毛布といえば普通は毛布を下にした方が暖かいものという認識が一般的だと思われそうですが、実は布団の種類によって最適な重ね方は異なります。

羽毛布団は中に充填された羽毛の効果により汗などの水分を吸湿・発熱することで保温性を高めますので、間に毛布を挟むとかえって保温性が低下してしまいます。**羽毛布団は直接肌に触れるようにし、暖かい空気が逃げないようにフタをするイメージで上に毛布を掛けること**でより暖かくお休みいただくことができます。

また、毛布が重すぎると羽毛布団がつぶれて保温性が落ちてしまいますので、軽く面積が広い毛布を保温の補助としてお使いいただくのがおすすめです。



編集後記

「昭和じゃあるまいし…」一度は使ったセリフかもしれません。

トランプ大統領、紙ストローをプラスチックに戻せ！と舵を切りました。

同様に、「多様性」を認める社会の流れにも待った！をかけています。

「ゆとり教育」から「脱ゆとり教育」へ移行した歴史を思い返します。

「時代の流れ…」 「その考え古いよね…」 といった言葉に惑わされないようにと思います。

超寝具店ヌノヤ (株式会社布屋商店) 代表取締役社長 布谷 剛